

第 2 回九州橋梁・構造工学研究会シンポジウム 最終原稿の書き方

1. はじめに

KABSE シンポジウムでは、最終原稿(PDF)を、USB メモリーにコピーし、KABSE シンポジウム参加者他に配布します。従って、作成するOSの環境でのPDF化で不具合が生じないよう、変換ソフト・使用可能文字・ファイルサイズ等、十分に検証の上、所定の提出先に本文の電子ファイル及び査読用(又はチェック用)印刷原稿を送付して頂きます。

2. 原稿の書き方

- 【 最終提出原稿 】 最終原稿は、そのまま USB メモリーにコピーします。提出は、本文のPDF 電子ファイルです。なお、PDF 作成後、元原稿と相違がないか確認し、提出して下さい。掲載決定後に KABSE シンポジウム実行委員会でページ番号等を挿入しますので、セキュリティ等の設定は行わないで下さい。
- 【 概要の作成 】 最終原稿の提出時に、1 ページの概要版を提出してください。
- 【 書 式 等 】 フォントは明朝体とし、文字サイズは9ポイントとします。なお、論文英文題目と執筆者英名は Times または Times New Roman とします。
- 【 図・表・写真 】 図・表・写真は、カラーでも可能です。ただし、解像度はむやみに大きくすることなく、必要最小限として下さい。なお、図・表・写真を他の著作物から引用する場合は、出典を必ず明記し、かつ必要に応じて原著者の了解を得て下さい。
- 【 原稿の作成基準 】 以下に従って作成し、4 ページから 6 ページとして下さい。

3. 英文で投稿される場合

基本的には和文のフォーマットに従っていただきますが、題目は英文だけを記入してください(12ポイント, センタリング, Times New Roman). 著者名も英名(Alphabet 表記)のみでよいです。所属を記載し、要旨・本文を英文で書いてください。

		上下位置	左右位置	文字の大きさ	備考
マージン		上辺マージン 20mm 下辺マージン 25mm	左辺マージン 20mm 右辺マージン 20mm		(フォントは 9 ポイントで、総幅 52 文字×50 行の 2 段組)
ヘッダー		—	—	—	記述してはいけません。
フッター		—	—	—	記述してはいけません。
シンポジウム開催月		先頭ページ仮想上枠の直下行に書く。	仮想左枠から 2 文字あける。	9 ポイント	第2回は2014年12月になります。
題目	和文題目	左上発行年月から 2 行あける。	センタリングで左右枠から 20mm 以上あける。	12 ポイント以上で強調する。	
	英文題目	和文題目から 1 行あける	同上	9 ポイント	
執筆者	和名	英文題目から 1 行あける	同上	同上	執筆者右肩に順に上付きの＊を書きます。
	英名	和名の直下行に書く。	同上	同上	
	資格・勤務先等	英名から 1 行あける。 (一人 1 行)	同上	同上	会員資格、勤務先、連絡先住所の順に書きます。
要旨		資格・勤務先等から 1 行あける。	左右枠から 5 文字分あける(中央配置)。	同上	日本語とし約 300 字(42 字×7 行を標準)とし、キーワードは不要です。
本文	見出し	要旨から 1 行あける。 章・節・項は 1 行使用する。	横 2 段組み(25 文字×2 段)とし、段組み間スペースは 2 文字または 7mm 程度とする。	同上	例) 4. 章のタイトル 4.1 節のタイトル (1) 項のタイトル
	図・表・写真	図・表・写真およびそのタイトルと本文文章とは 1 行あける。		タイトルは 9 ポイント	図のキャプションは図ー◇とし図の下に、表のキャプションは表ー◇とし表の上に表示します。写真のキャプションは、写真ー◇とし写真の下に表示します。極力当該頁の上部または下部にまとめてレイアウトして下さい。
	式	本文中に書く。	式自体は行の中央に表示し、式番号は括弧書きで右詰めとする。	適切なサイズ	数式用のフォントは、式及び文章内で同一として下さい。なお、PDF 変換に際し文字化け等に留意して下さい。
謝辞, 付録		「結論」の後、1 行あけ、「謝辞」の後、1 行あける。	結論からの連番とする。	9 ポイント	結論、謝辞、付録、参考文献の順となります。
参考文献		本文から 1 行あけ、まとめて記載する。 参考文献の下は 1 行あけたのち、左右の段落の最終行を極力そろえる。	最終頁の右段で終わらせる。	9 ポイントとするが間隔は密でもよい。	引用順に番号を付け、本文中にはその番号を右括弧書き数字で右肩上付きで示します。 記述は、著者名:論文名, 雑誌名, 巻号, ページ, 発行年の順とします。
受付日		受付日は最終原稿提出締切日とする。(2014. 10. 31 受付)			